

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第2部門第4区分
【発行日】平成17年12月22日(2005.12.22)

【公開番号】特開2003-226051(P2003-226051A)
【公開日】平成15年8月12日(2003.8.12)
【出願番号】特願2002-25946(P2002-25946)
【国際特許分類第7版】

B 4 1 J 11/00

【F I】

B 4 1 J 11/00 Z

【手続補正書】
【提出日】平成17年10月17日(2005.10.17)
【手続補正1】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

印刷機構とこの印刷機構により印刷される媒体を所定の搬送速度で印刷機構に搬送する搬送機構とを備え、大径のリールに巻かれたチューブやテープ等の長尺被印刷媒体をリールから引き出した状態で印刷する印刷装置に着脱自在であって、上記長尺被印刷媒体を湾曲させる手段を持つことを特徴とする印刷装置の給送装置。

【請求項2】

上記長尺被印刷媒体を湾曲させる手段は、給送機構と搬送機構との間に設けられていることを特徴とする請求項1に記載の給送装置。

【請求項3】

印刷機構とこの印刷機構により印刷される媒体を所定の搬送速度で印刷機構に搬送する搬送機構とを備え、長尺被印刷媒体を印刷する印刷装置に着脱自在であって、長尺被印刷媒体が直線状になることを阻止する突起部を設けたことを特徴とする印刷装置の給送装置。

【請求項4】

上記突起部は、給送機構と搬送機構との間に設けられていることを特徴とする請求項3記載の給送装置。

【請求項5】

上記長尺被印刷媒体を挟持する給送ローラを備え、搬送装置による搬送速度より高速の給送速度と低速の給送速度との間で給送速度を適宜切り替え、上記長尺被印刷媒体を搬送機構と給送機構との間で常にたわませることを特徴とする請求項3または請求項4記載の給送装置。

【請求項6】

上記突起部は長尺被印刷媒体が給送機構と搬送機構との間で直線状になることを阻止しない待避位置に移動し得ることを特徴とする請求項3から請求項5のいずれかに記載の給送装置。

【請求項7】

印刷機構とこの印刷機構により印刷される媒体を所定の搬送速度で印刷機構に搬送する搬送機構とを備え、大径のリールに巻かれたチューブやテープ等の長尺被印刷媒体をリールから引き出した状態で印刷する印刷装置に着脱自在であって、上記長尺被印刷媒体を挟持する給送ローラを備え、搬送装置による搬送速度より高速の給送速度と低速の給送速度

との間で給送速度を適宜切り替え、上記長尺被印刷媒体を搬送機構と給送機構との間で常にたわませる印刷装置の給送装置において、給送機構による長尺被印刷媒体の給送方向を搬送機構に向かう方向から所定角度ずらしたことを特徴とする印刷装置の給送装置。

【請求項 8】

上記長尺被印刷媒体は、大径のリールに巻かれたチューブやテープ等であり、これらをリールから引き出した状態で印刷する印刷装置に着脱自在であることを特徴とする請求項 1、請求項 2、請求項 3、請求項 5、および請求項 6 のいずれかに記載の給送装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

【課題を解決するための手段】

上記課題を解決するために本発明による印刷装置の給送装置は、印刷機構とこの印刷機構により印刷される媒体を所定の搬送速度で印刷機構に搬送する搬送機構とを備え、大径のリールに巻かれたチューブやテープ等の長尺被印刷媒体をリールから引き出した状態で印刷する印刷装置に着脱自在であって、上記長尺被印刷媒体を湾曲させる手段を持つことを特徴とする。